Lenovo
ThinkSmart

Zoom Rooms

Deployment Guide
Revision 6.0

Smarter technology for all

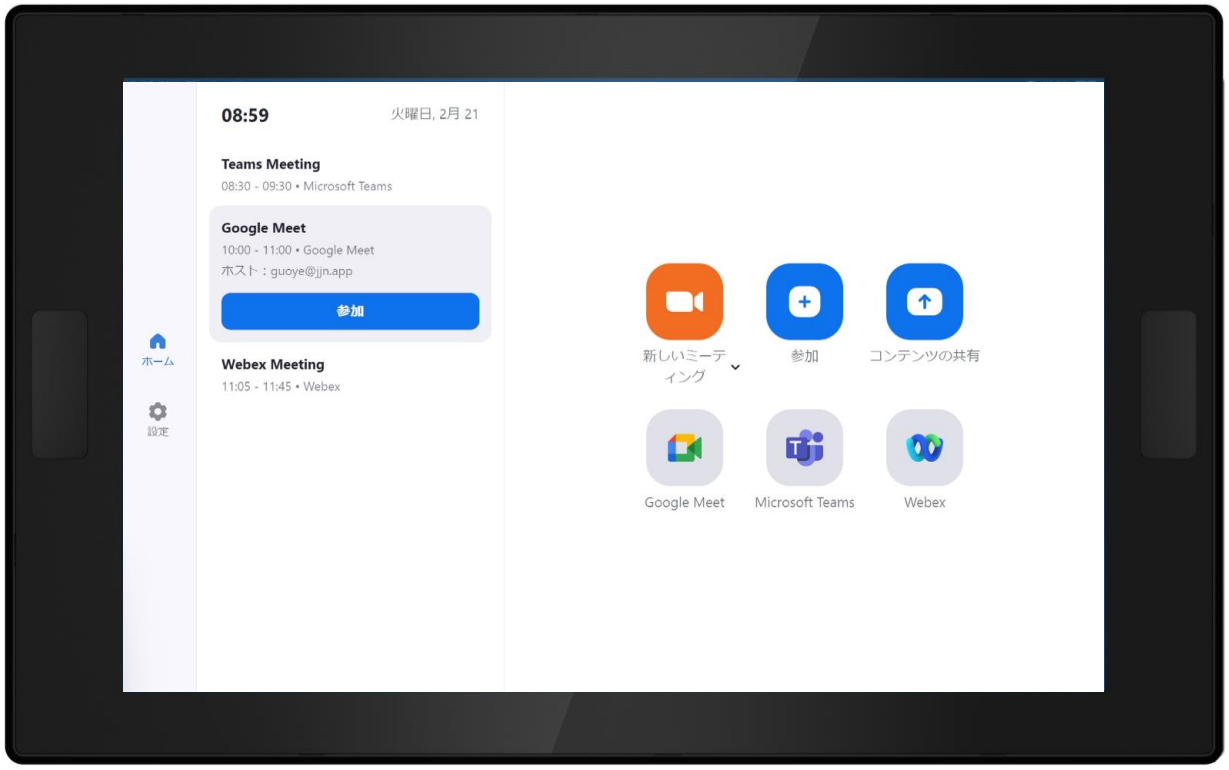
Lenovo

はじめに

本書は、レノボが販売する ThinkSmart ブランドの Zoom Rooms デバイスの展開にあたって
必要な情報をまとめたものです。使用開始までには環境のアセスメントと事前準備、
デバイスの初期設定、その後のアップデート管理などの手順をステップバイステップでご案内します。

環境面の準備 ▶ デバイスの初期設定 ▶ ソフトウェアのアップデート ▶ ソフトウェアの設定変更 ▶ リカバリー

尚、ThinkSmart ブランドの Zoom Rooms デバイスは クラウドベースの 管理ソリューションである
ThinkSmart Manager を用いて展開することも可能ですが、本書では ThinkSmart Manager を用いない
一般的な展開方法について解説します。



1 Zoom Rooms とは

2 使用開始のための準備

3 デバイスの初期設定

4 ソフトウェアのアップデート

5 Zoom Rooms の設定変更

6 工場出荷状態へのリカバリー

7 トラブルシューティング

8 よくある質問

1 Zoom Rooms とは

Zoom Rooms は、会議室などに設置する据え置き型のオンライン会議専用会議室向けソリューションです。
レノボでは ThinkSmart というブランドで Zoom Rooms をプリインストールした
会議スペース専用デバイスに加えて、カメラやスピーカーバーなどの周辺機器を提供しています。

ハドルルーム / 小規模会議室

中規模会議室

大規模会議室 / 役員会議室

ThinkSmart Hub Gen 2 + Cam

ThinkSmart One + Controller

ThinkSmart Core Full Room Kit Bar 180

ThinkSmart Core + Controller

2 使用開始のための準備

Zoom Rooms をプリインストールした ThinkSmart デバイスはインターネットを
通じて使用されるデバイスです。使用に際しては、ネットワーク、アカウント、
そしてライセンスなどの各種要件を満たしているかご確認いただく必要があります。

1 Zoom Roomsアカウントの準備

Zoom Rooms は会議スペースで使用される共用端末です。
Zoom Roomsが設置されている会議室に対して一意のアカウントを割り振る必要があります。
Zoom Rooms デバイスの利用にはそれぞれのデバイスに対してユニークなアカウントで
サインインすることが求められます。

Zoom Rooms の機能を活用いただくために、Zoom Rooms 上でのサインインが
必要となります。ThinkSmart デバイスにライセンスは付属しておりませんので、
別途、Zoom Rooms ライセンスをご用意ください。
Zoomミーティングのアカウントでは Zoom Rooms をご利用いただけません。

Zoom Roomsアカウント作成方法

1. Zoom 管理コンソール *1 を Web ブラウザで開き、
管理者権限を持つアカウントでログインします

2. 左側カラムのメニューから「ルーム管理」を選択します

3. 「 Zoom Rooms 」を第二階層のメニューより選択します

4. 右側カラムにある「＋ルームを追加」を選択します

*1 Zoom 管理コンソール
https://zoom.us/signin#/login

2 使用開始のための準備

Zoom Roomsアカウント作成方法

5. Zoom Roomを追加します

ルームタイプは適宜ご選択ください

ルーム名は Zoom Rooms の待ち受け画面に
表示される他、会議室予約の際、
また会議の参加者としての表示などに使われます

必要に応じてカレンダーを割り当てます。*2
カレンダー リソースが Zoom Rooms に統合されている場合、
ThinkSmartデバイスの待ち受け画面に、
そのカレンダー リソースでスケジュールされたミーティングが表示されます。
ユーザーはThinkSmartデバイスの待ち受け画面をワンタッチして
ミーティングに参加することができます。
組織のメンバーは、該当Zoom Roomをミーティングに招待することによって
Zoom Room でミーティングスケジュールに反映することができます。

*2 Office 365、Google Calendar、Exchange という三つのカレンダーサービスを利用可能です。
詳細設定手順については 以下の URL をご参照ください。

Office 365 で Zoom Rooms をセットアップ
https://support.zoom.us/hc/ja/articles/203847179

Google カレンダーで Zoom Rooms を設定する
https://support.zoom.us/hc/ja/articles/206905656

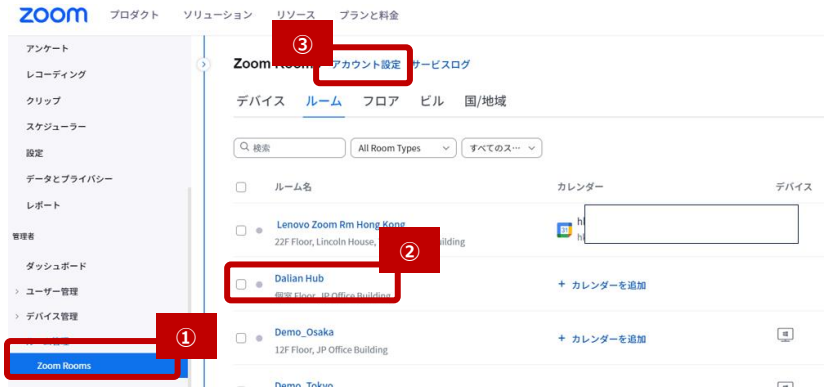
Exchange 2013 以降で Zoom Rooms を設定する
https://support.zoom.us/hc/ja/articles/203847339

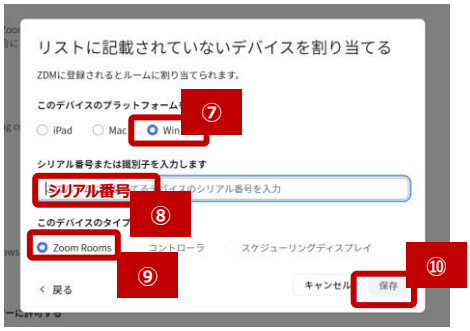
2 使用開始のための準備

デバイスのZoom Roomsアカウントへの自動サインインを設定

ThinkSmart から Zoom Rooms を利用するには、
Zoom Rooms アプリケーション上でのサインインが必要となります。
作成したZoom Roomsアカウントをデバイスに割り当てると、デバイスの初期設定完了後、
自動的に割り当てたZoom Roomsアカウントにサインインすることができます。
設定方法をご案内します。

① Zoom 管理コンソール > Zoom Rooms
② 作成したZoom Roomsアカウント前のチェックボックスをチェック
③ 【アカウント設定】をクリック
④ 【デバイス管理】をクリック
⑤ 【デバイスを割り当て】をクリック
⑥ 【リストに記載されていないデバイスを割り当てる】をクリック
⑦ 【Win】をクリック
⑧ デバイスのシリアル番号をインプット
⑨ 【保存】をクリック





2 ネットワーク

Zoom Rooms を正常に動作させるためには、ネットワーク要件を満たす必要があります。
利用開始前に、要件を満たしているかご確認ください。
詳細については、Zoom Rooms の開発元である Zoom の公式サイト *3 をご参照ください。

ファイアウォールの要件

プロトコル	ポート番号	用途
UDP	3478, 3479, 8801	Zoom Roomsからクラウドへ
TCP	8801, 8802, 443	Zoom Roomsからクラウドへ
TCP	8888	クライアントからZoom Rooms へ（直接共有）
UDP	8889	クライアントからZoom Rooms へ（直接共有）

ネットワーク帯域幅の要件

種類	ダウンロード/アップロード（推奨）
外付けディスプレイ 1 枚と接続する場合	2.0 Mbps / 2.0 Mbps
外付けディスプレイ 2 枚と接続する場合	2.0 Mbps / 4.0 Mbps

プロキシ設定の概要については、第8章「よくある質問」（P.25）をご参照ください。

*3 Zoom Rooms のファイアウォール設定
https://support.zoom.us/hc/ja/articles/203680389-Zoom-Rooms-

3 デバイスの初期設定

環境面の準備が完了したら、デバイスを開梱して初期設定に移ります。

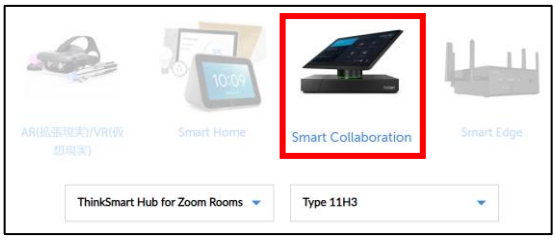
1 デバイスの開梱と配置

ThinkSmart デバイスの開梱と配置方法はデバイスごとに異なります。
Lenovo サポートサイトよりダウンロード可能な各製品のユーザーガイドをご参照ください。

ユーザーガイドのダウンロード方法

1. Lenovo サポートサイト *4 にアクセス
2. 製品グループのうち「スマートデバイス」を選択

3. 製品のうち「Smart Collaboration」を選択
4. サブシリーズから使用中の製品を選択（例: ThinkSmart Hub for Zoom Rooms）
5. 使用中の製品型番の上4桁を選択（例: 11H3）



6. 画面上部の製品情報カラムより「マニュアルファイル」を選択

*4 Lenovo サポートサイト
https://support.lenovo.com/jp/ja/

3 デバイスの初期設定

初回起動時には OS の初期設定を実施いただく必要があります。

2 OS の初期設定

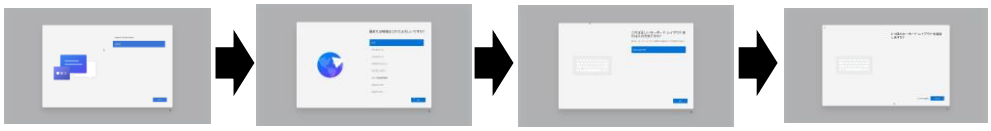
Zoom Rooms をプリインストールした ThinkSmart デバイス 上では
Windows 11 IoT Enterprise が動作しています。まずはOSの初期設定を行います。

Windows の初期設定

1. ユーザーガイドに沿って設置したデバイスを起動

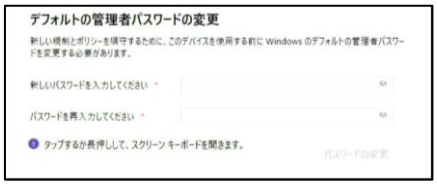
ThinkSmart Core もしくは ThinkSmart One をお使いの場合、OS の初期設定時のディスプレイとして付属のタッチコントローラーはご利用いただけません。外付けディスプレイとUSB接続のキーボード、マウスを接続の上、本項目の設定を実施してください。

2. 画面の案内に沿って言語や接続先ネットワーク（無線LANの場合）を設定



3. 「ThinkSmart Managerに対するデバイスの申請」画面で左下の「今はスキップ」を選択
   * 本ガイドでは、ThinkSmart Manager を用いない初期設定方法をご案内します

4. 画面の案内に沿って、管理者パスワードを設定
   * デバイス設定の変更の際にここで設定したパスワードが必要となります



3 デバイスの初期設定

Think Smart から Zoom Rooms を利用するには、
Zoom Rooms アプリケーション上でのサインインが必要となります。
作成したZoom Roomsアカウントをデバイスに割り当てると、デバイスの初期設定完了後、
自動的に割り当てたZoom Roomsアカウントにサインインすることができます。
自動サインイン設定されていない場合、デバイスからのマニュアルサインインが可能です。

3 Zoom Rooms にマニュアルサインイン

アクティベーションコードでマニュアルサインイン

まず、Zoom 管理コンソールでアクティベーションコードを確認する必要があります。

Zoom 管理コンソールにてアクティベーションコードを確認する方法 *5

a. 管理者権限を持つアカウントで Zoom 管理コンソール *1 にログイン
b. 左側カラムのメニューから「ルーム管理」→「 Zoom Rooms 」の順にクリック
c. 該当ルームの右のアクティベーションコードを確認

アクティベーションコードを確認後、以下の手順でサインイン

1. 「サインイン」をタップ

*5 Zoom Rooms を有効化するためのアクティベーションコードは10日間有効です。
失効した場合は、新しいアクティベーションコードを生成する必要があります。

3 デバイスの初期設定

2. 「アクティベーションコード」をタップ

3. アクティベーションコードを入力、「サインイン」をタップ

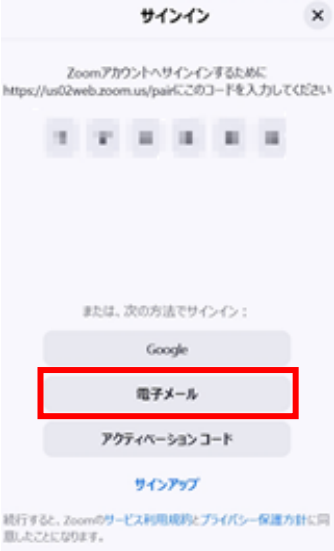
4. 「Zoom Rooms」を選択

5.待ち受け画面になる

3 デバイスの初期設定

アカウントでマニュアルサインイン

1. 電子メールをタップ



2. メールアドレスとパスワードを入力

3. ルーム及びモードを選択

3 デバイスの初期設定

ThinkSmart Hub関連のスクリーン設定

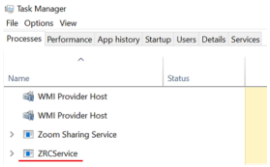
ThinkSmart Hubをご利用の場合、24時間常時稼働を防ぐことでタッチパネルの寿命を延ばすことができます。以下の設定を使うことで、使用していないときにパネルの電源をオフにすることが可能です。

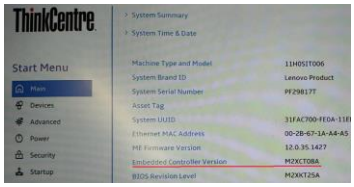
1. Zoom 管理コンソール(https://zoom.us/signin#/login) に管理者権限を持つアカウントでログイン
2. 「ルーム管理」 → 「Zoom Rooms」で、 「アカウント設定」の項目の下で、

デバイス作動時間項目の下の【Zoom Roomsコントローラの画面を暗くする】をチェックして、【アイドルタイムアウトによる制御】を15分に設定ください。

Zoom 管理コンソールから設定済みで、パネル自体が設定した時間を過ぎても
ブラックアウトしない場合は、下記の内容をご確認ください。
1．タスクマネージャーを開いて、ZRCServiceが稼働しているかをご確認ください。
もしタスクマネージャーでZRCServiceが確認できない場合、
https://smartsupport.lenovo.com/jp/ja/downloads/ds565618デバイスにインストールください。

2. Embedded Controller (組込みコントローラー) を M2XCT08A 以降のバージョンに更新ください。
https://smartsupport.lenovo.com/jp/ja/downloads/ds565433





3. アラートが表示されている場合、タッチパネルはブラックアウトしないので、
Zoom Webポータル > ルーム管理 > Zoom Rooms > アカウント設定>アラート

4 ソフトウェアのアップデート

Zoom Rooms は基本的に手動で更新する必要はありませんが、手動更新が必要な場合
以下の手順をご参照ください。

1 管理コンソールから Zoom Rooms を最新バージョンに更新する方法

1. Zoom 管理コンソール(https://zoom.us/signin#/login) に管理者権限を持つアカウントでログイン
2. 「ルーム管理」 → 「Zoom Rooms」で、
   「デバイス」項目の下で、デバイスを選択してアップグレード
   コンソールより更新できない場合はインストーラーを利用して更新ください。

アップグレード中

アップグレード完了

アップグレード後、ThinkSmart デバイス側でも、待ち受け画面右下の ⚙ を
タップするだけでアップグレード後のバージョンが確認できます。

4 ソフトウェアのアップデート

2023年2月7日以降にLenovo工場から出荷した Zoom Rooms が動作する ThinkSmart Hub Gen 2 またはThinkSmart Coreでは *6 Zoom Roomsアカウントにサインインすると、Zoom デバイス管理（ZDM）サービス*7 へ自動登録されます。ZDM サービスを利用してデバイスの更新管理が可能です。

2 ZDM サービスによるWindows システム更新を管理する方法

ZDMへの自動登録関連

デバイスがZDMに登録されているかの確認方法

1. Zoom 管理コンソール (https://zoom.us/signin#/login) に管理者権限を持つアカウントでログイン
2. 「ルーム管理」→「Zoom Rooms」→ 対象ルームをクリック
3. ZDMに登録されているデバイスは、デバイス名のところZDMのロゴが表示されます。
4. デバイスをクリックすると、ZDMに接続済み項目が接続済みと表示されている場合、ZDMに問題なく管理されている状態です。

5. 登録が【登録済み】で、ZDMに登録済みが【切断】状態でしたら、Zoom Roomsをログアウトし再度サインインの上で【接続済み】状態に変更されるのかを確認ください。

*6 それ以外のZoom Rooms が動作する ThinkSmart デバイスの場合、手動登録することも可能です。
詳細については、「Windows デバイスでの ZDM の使用」をご参照ください。
https://support.zoom.us/hc/ja/articles/360030415472#h_1507608a-19ea-4baf-b19a-8ca8a426a641

*7 ZDM を使用した Windows システム更新の管理
https://support.zoom.us/hc/ja/articles/360030469872-Managing-Windows-system-updates-with-ZDM

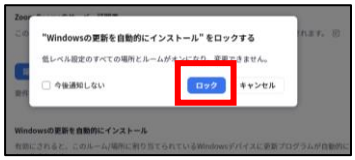
*8 ZDM サービスはSCCMやWSUSなどによる管理をブロックしませんので、 SCCMやWSUSを利用しての管理も可能です。

4 ソフトウェアのアップデート

Windowsシステム更新を自動的にインストール

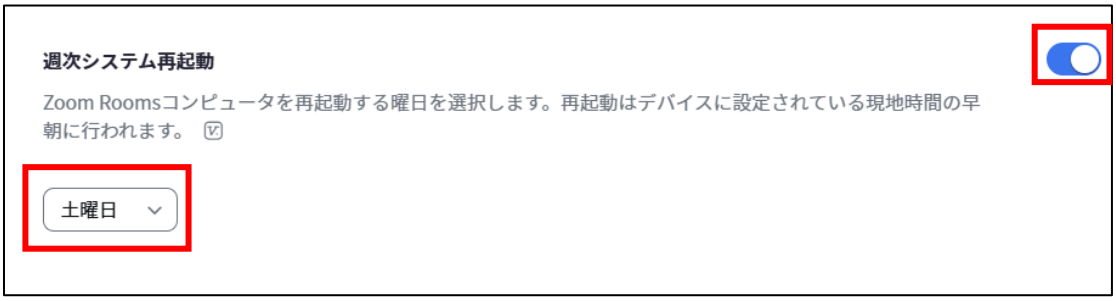
1. Zoom 管理コンソール (https://zoom.us/signin#/login) に管理者権限を持つアカウントでログイン
2. 「ルーム管理」→「Zoom Rooms」→ 「アカウント設定」ボタンをクリック →
「デバイス管理」→「Windowsの更新を自動的にインストール」をOnにする

個々の会議室アカウントレベルで設定変更させてなくない場合、設定の右側のロックをクリックすることで設定をブロックすることが可能です。



アカウント設定レベルで
ロックした設定は、
ルームレベルで
設定変更できません。

3. Windows Updateが再起動するときにインストールされるので、週次再起動を【有効化】
「ルーム管理」→「Zoom Rooms」→ 「アカウント設定」ボタンをクリック→
「基本」→「週次システム再起動」をオン



4 ソフトウェアのアップデート

4. デバイスのアクティブ時間をインプットし、適切な更新スケジュールを設定します。
デバイス管理＞更新管理＞更新スケジュールを設定

スケジュールされたインストール日、アクティブ時間を設定します。
設定したアクティブ時間内、デバイスは更新のインストールによる再起動は行いません。

4 ソフトウェアのアップデート

3 Windows Updateをデバイス側で管理する方法

ZDMからデバイスを登録解除

デバイスがZDMに登録されている場合、Windows UpdateがZDMより管理されます。デバイス側でWindows Updateを管理したい場合、ZDMから登録解除する必要があります。
デバイスをネットワークに接続した状態で操作してください。

1. Zoom 管理コンソール (https://zoom.us/signin#/login) に管理者権限を持つアカウントでログイン
2. 「ルーム管理」→「Zoom Rooms」→ 対象ルーム右側の「編集」ボタンの右側の「 … 」をクリック→「ZDMから登録を解除」をクリック

3. 管理者アカウントで Windows にログイン
4. アカウント> 職場または学校にアクセスするをクリックして、デバイスの解除を確認

デバイスがZDMに管理されている場合、切断をクリックください。

ZDMに登録済み

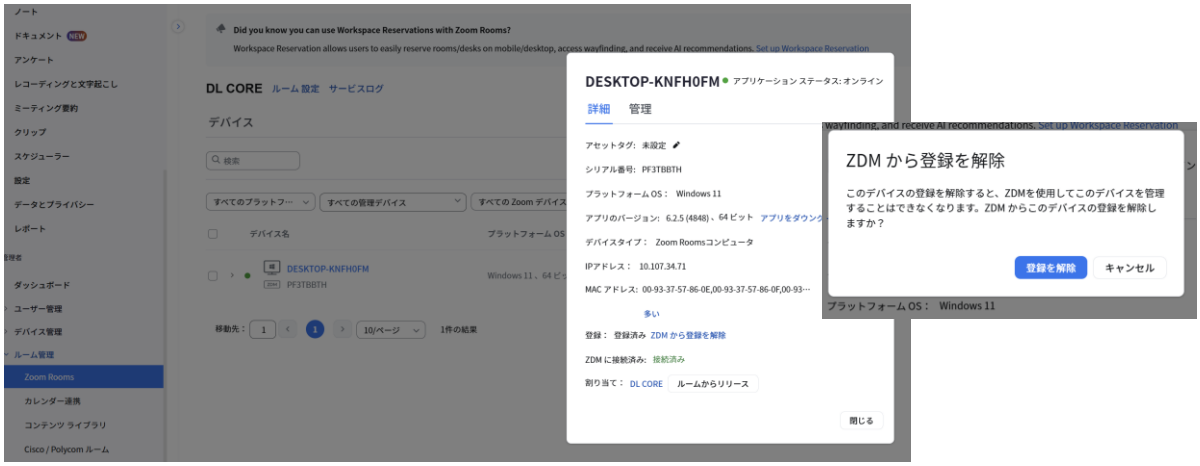
ZDMから解除済み

4 ソフトウェアのアップデート

デバイスからWindows Updateポリシー設定

デバイスがZDMに登録されている場合、Windows UpdateがZDMより管理されます。デバイス側でWindows Updateを管理したい場合、まずデバイスをZDMから登録解除する必要があります。デバイスがネットワークに接続した状態で操作してください。

1. Zoom 管理コンソール (https://zoom.us/signin#/login) に管理者権限を持つアカウントでログイン
2. 「ルーム管理」→「Zoom Rooms」→ 対象ルーム右側の「編集」ボタンの右側の「 … 」をクリック→「ZDMから登録を解除」をクリック



3. 管理者アカウントで Windows にログイン
4. アカウント> 職場または学校にアクセスするをクリックして、デバイスが問題なく解除されたのかを確認

デバイスがまだZDMに管理されている場合、切断をクリックください。

ZDMに登録済み

ZDMから解除済み

5. デバイスからWindows Update関連内容を設定

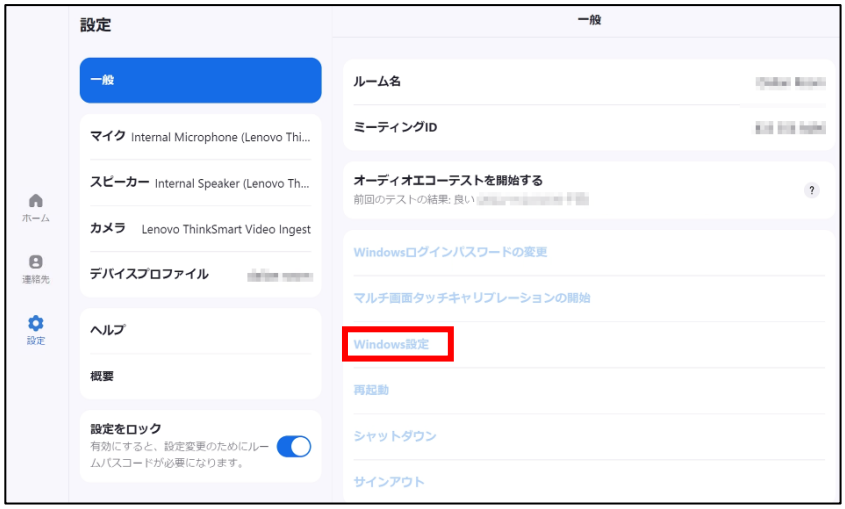
自動更新させるかなどのWindows Updateポリシーはデバイス側から予め設定する必要があります。

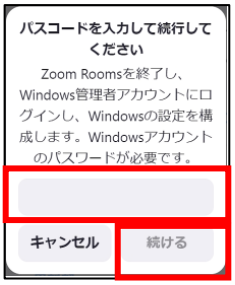
4 ソフトウェアのアップデート

デバイスからWindows Updateを実行

1. 待ち受け画面で「設定」をタップ

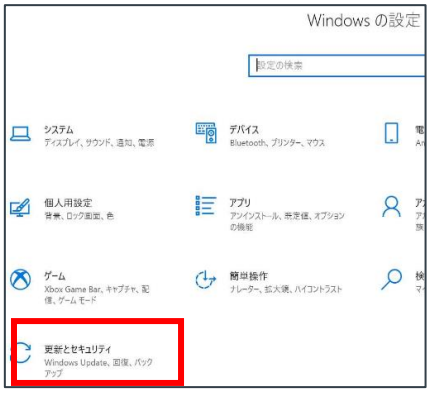
2. 「Windows設定」をクリック → Windows アカウントのパスワードを入力 →「続ける」をクリック





3. 管理者アカウントで Windows にログイン（P.15をご参照ください）

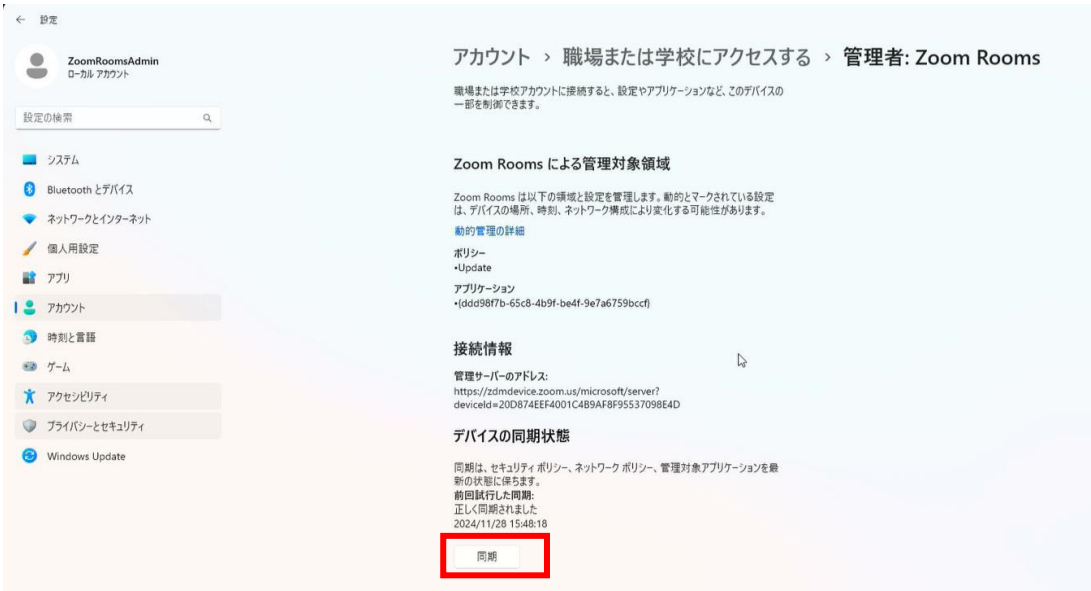
4. Windows Updateを実行



4 ソフトウェアのアップデート

デバイスがZDMに登録済み、ZDMよりデバイスを管理不可の場合の対応方法

1. 管理者アカウントで Windows にログイン
2. アカウント> 職場または学校にアクセスするをクリック。デバイス上
「zdm@zoom.usによって接続済みと表示された場合、デバイスがZDMに登録されています。
2. 「管理者: Zoom Rooms」右側の「情報」をクリックして同期状況が確認できます。
3. 「同期」をクリックしてデバイスの状況を再確認ください。
4. Zoomウェブポータルからデバイスの登録状況を再確認



5 Zoom Rooms の設定変更

初期設定の完了後も、任意のタイミングで Zoom Rooms の設定は変更可能です。
また、OS側の設定にアクセスする必要のある場合も、この設定画面経由でアクセスします。

1 設定画面へのアクセス方法

起動後に自動表示される待ち受け画面で「設定」をタップすることで
Zoom Rooms の設定画面にアクセスできます。

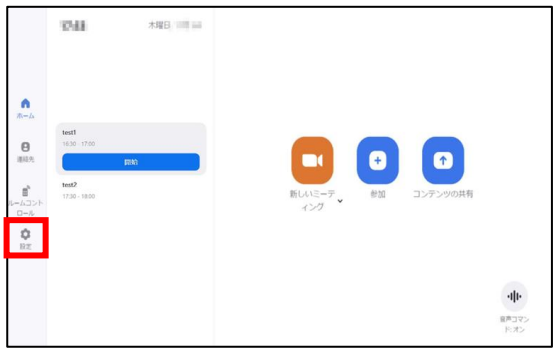
Zoom Rooms デバイスでの設定内容

メニュー	内容
一般	ルーム名、アプリのバージョン、ドメイン名の表示、IPアドレスやホスト名の表示、管理者権限でのOSへのサインイン、デバイスのシャットダウン、再起動
マイク	マイクのテスト、マイクの設定変更
スピーカー	スピーカーのテスト、スピーカーの設定変更
カメラ	カメラの設定変更
ネットワーク	イーサネット、Wi-Fiの接続状態の確認、設定変更
ヘルプ	問題の報告を生成し、Zoom に送信

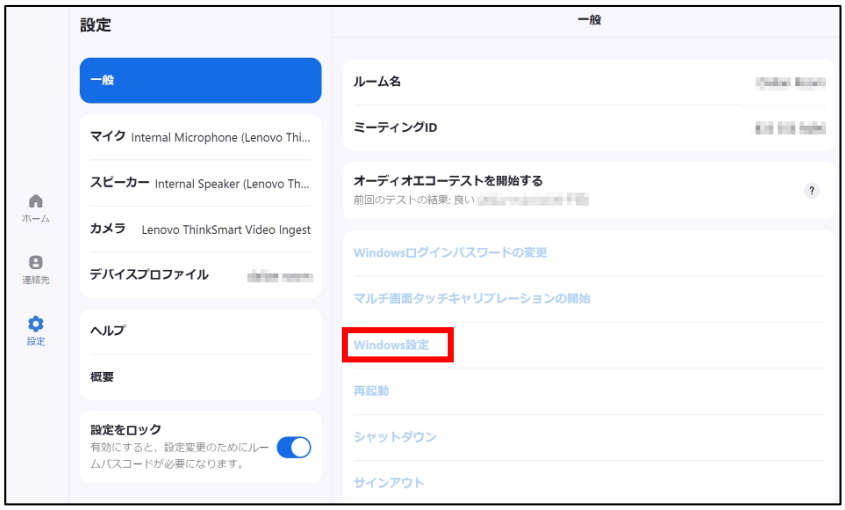
5 Zoom Rooms の設定変更

2 管理者権限でのサインイン

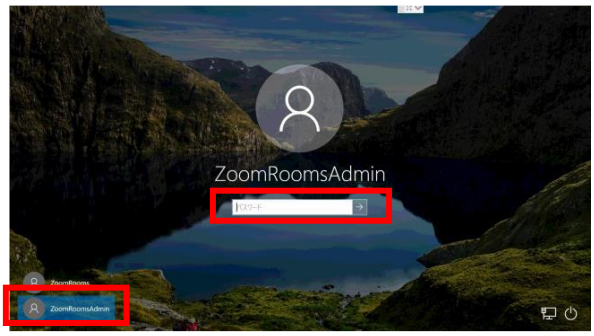
起動後に自動表示される待ち受け画面で「設定」をタップすることで
Zoom Rooms の設定画面にアクセスできます。



左カラムのメニューで、デフォルトで「一般」が選択されている状態で、
画面右側のエリアで「 Windows設定」をタップします。



管理者アカウントで「 ZoomRoomsAdmin 」にサインインします。

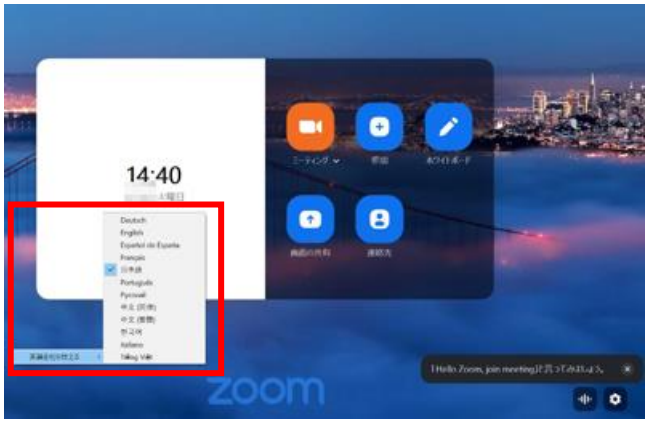


5 Zoom Rooms の設定変更

3 Zoom Rooms 表示言語の変更

Zoom Rooms の表示言語を変更する

1. Zoom Rooms 待ち受け画面を長押し
2. 「言語を切り替える＞」＞ 希望の言語をタップ

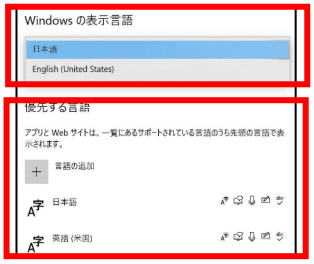


3. 表示言語が変更される

管理者アカウントの言語設定を変更する

1. 管理者アカウントで Windows にログイン（P.14をご参照ください）
2. 「スタート」→「設定」→「時刻と言語」→「言語」の順にクリック

3. 希望の言語を「優先する言語」エリアに追加した上、
「 Windowsの表示言語」から希望の言語を選択



4. サインアウト後、表示言語が変更される

6 工場出荷状態へのリカバリー

リカバリーメディアの作成は、ThinkSmart デバイス以外の Windows PC で実施してください。

1 Lenovo ID の作成

リカバリーメディアの作成には Lenovo ID の作成が必要です。
Lenovo サポートサイト*4 右上にある「マイアカウント」→「登録する」から登録いただけます。

2 リカバリーメディアの申し込み

Lenovo リカバリーメディア 申し込みページを *9 Webブラウザで開きます。
Lenovo アカウントでのログインが求められた場合、#1で作成したアカウントをご使用ください。

シリアル番号入力欄に お使いの ThinkSmart デバイスのシリアル番号を入力して
青色の「>」ボタンを選択します。

「国/地域」及び「OSの言語」を選択後、保証ポリシーに同意の上で「次へ」をクリックします。

*4 Lenovo サポートサイト
https://support.lenovo.com/jp/ja/

*9 Lenovo リカバリーメディア 申し込みページ
https://pcsupport.lenovo.com/jp/ja/lenovorecovery

6 工場出荷状態へのリカバリー

お客様情報を入力して「送信」をクリックします。
メールアドレス欄には、Lenovo IDで使用しているものをご入力ください。

入力したメールアドレス宛に申し込み完了メールが届いたら作成の準備は完了です。

6 工場出荷状態へのリカバリー

3 リカバリー USB キーの作成

Lenovo デジタル・ダウンロード・リカバリー・サービス（DDRS）サイト *10 より
Lenovo USB Recovery Creator をダウンロードします。

ダウンロードした Lenovo USB Recovery Creator を起動します。
メイン画面から「リカバリー・ファイルをダウンロードしてリカバリー USB キーを作成」を選択し、申込時に使用した Lenovo ID の認証情報でサインインします。

申込時に入力したシリアル番号を選択して「次へ」を選択します。

ダウンロード先を指定して「ダウンロード」を選択すると、ダウンロードが始まります。ダウンロード完了後、16GB以上の容量のUSBメモリをPCに挿入して「次へ」を選択します。適切なUSBメモリが選択されていること、また既存データが削除されることに同意の上で画面の案内に沿ってリカバリー USB キーの作成を行います。右側の画面が表示されると完了ですので、USB メモリを PC から取り外してください。

*10 Lenovo USB Recovery Creator のダウンロード
https://pcsupport.lenovo.com/jp/ja/solutions/ht103653

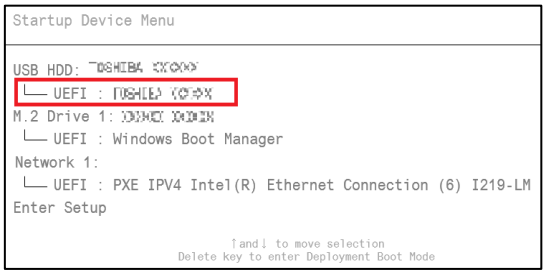
6 工場出荷状態へのリカバリー

本ページ以降の手順は Zoom Rooms がプリインストールされた ThinkSmart デバイスで行います。
あらかじめP.26までの手順に沿って作成したリカバリー USB キー をお手元にご用意ください。

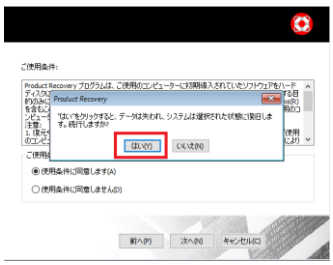
4 ThinkSmart のリカバリー

リカバリー USB キー を ThinkSmart デバイスに挿入します。
同時にUSB 接続の外付けキーボードとマウスを接続すると、以降の手順を円滑に進められます。

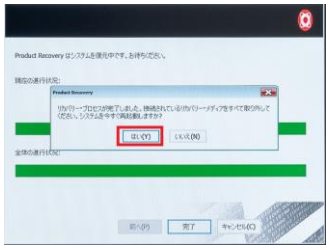
電源投入後、Lenovo ロゴの右上に表示される「BBS」を連続タップします。
「Startup Device Menu」画面が表示されますので、USB キーを選択 *11 します。



希望する言語を選択後、利用条件に同意します。通常は「JP [日本語]」を選択してください。
最終確認画面が表示されますので「はい」を選択してリカバリーを開始します。



リカバリー・プロセスが完了後、以下の画面が表示されます。
USB キーを取り外して「はい」を選択します。



再起動後、自動的に Windows の再設定が行われて出荷状態に戻ります。
このプロセスには時間がかかりますので、ご注意ください。

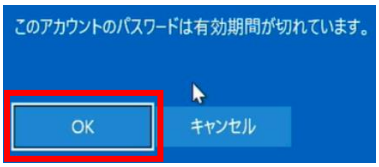
※11 モデルによってユーザーインターフェイスは異なります。
また、ブート順序については異なる場合がありますのでご注意ください。

7 トラブルシューティング

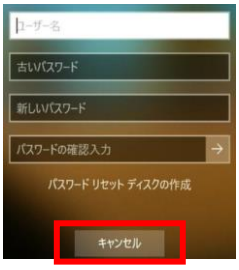
「このアカウントのパスワードは有効期間が切れています」のメッセージが表示される現象

Windows 初期設定で管理者パスワード設定後、また普段の利用時に
「このアカウントのパスワードは有効期間が切れています」のメッセージが表示されたら、
以下の作業を実施することで回避できます。

1. 以下の画面で「OK」ボタンを押す



2. 以下の画面で「キャンセル」を押す



3. 以下の画面で「OK」を押す

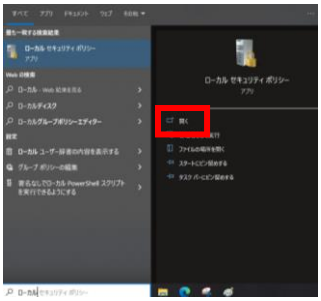
4. 「パスワード」欄がブランクのままで、「新しいパスワード」と
「パスワードの確認入力」欄に仮パスワードを入力し、次に進む

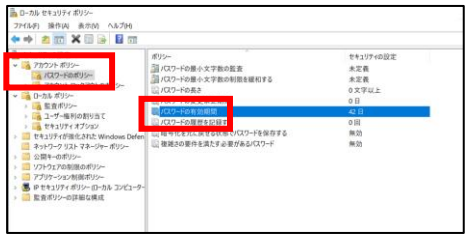
5. OS側の設定を変更することで再発を防止する（第3章 → #3 をご参照ください）

次ページの手順に進む

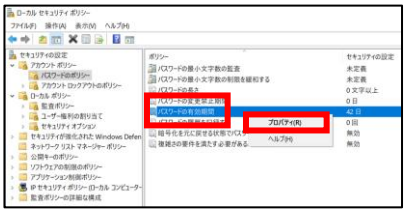
7 トラブルシューティング

6. 「ローカルセキュリティポリシー」を開き、
「アカウントポリシー」→「パスワードのポリシー」を押す



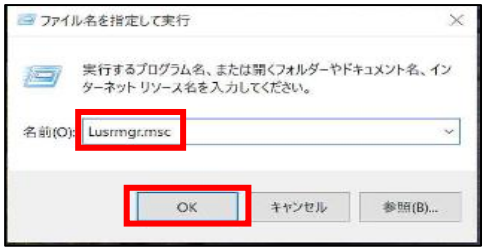


7. 「パスワードの有効期間」を右クリックし、「プロパティ」を押す

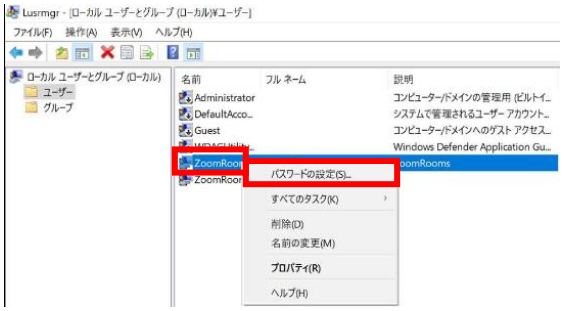


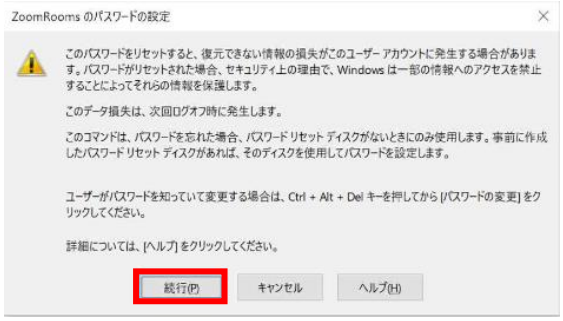
8. 以下の画面でパスワードの有効期間を「0」にして「OK」を押す

9. 「 Lusrmgr - [ローカル ユーザーとグループ (ローカル)] 」画面を出して仮パスワードを削除



10. 「 ZoomRooms 」項目を右クリック、「パスワードの設定」→「続行」を押す





11. 「新しいパスワード」と「パスワードの確認入力」欄がブランクのままで「OK」を押す

12. 以下の画面で「OK」を押す

8 よくある質問

Zoom Rooms からMicrosoft Teams会議、Google Meet、Webex会議へ参加するには

Zoom Roomsをプリインストールした ThinkSmart デバイスでは、事前設定を行うことで
Microsoft Teams会議や、Google Meet、Webex会議への参加が可能です。

方法① 予約した会議のワンタッチ参加

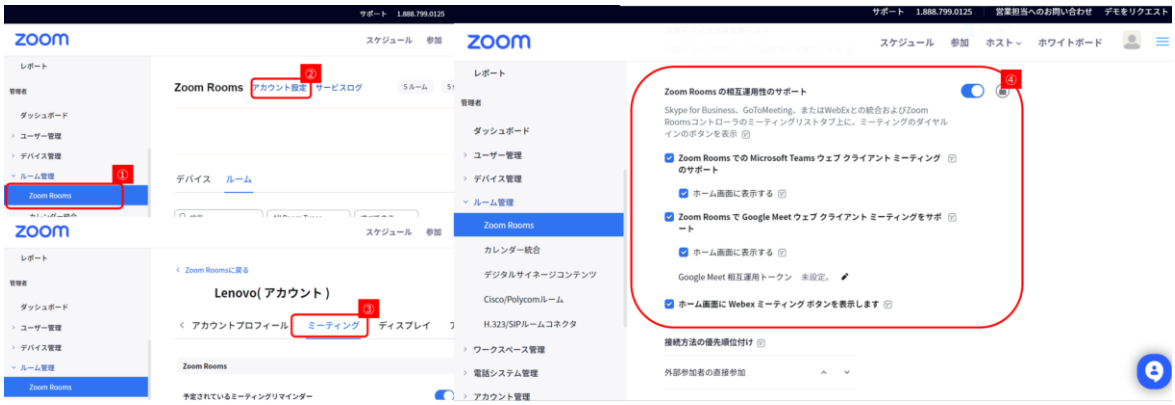
Zoom Roomsが組織のカレンダーリソースと連携している場合、Zoom Rooms用カレンダーリソースへTeamsや、Google Meet、Webexの会議インビテーションを送付することで、会議を予約することができます。参加時間が近づくと、参加ボタンが会議室のディスプレイや、タッチコントローラに表示されます。コントローラ上の参加ボタンをタップするだけで会議の参加可能です。

方法② ミーティングIDを利用した参加

タッチコントローラに表示されている待ち受け画面上の【参加ボタン】をタップして、Teams 会議IDや、Google Meetミーティングコード、Webexミーティングコード番号をインプットすることで、アドホック会議の参加もできるようになります。

方法③ 待ち受け画面に追加されたTeams会議、Google Meet、Webex会議のアイコンをタップして会議へ参加 *12

待ち受け画面上で、該当する会議プラットフォームのアイコンをタップし、
ポップアップされた画面に直接会議IDとパスコードを入力して会議への参加が可能です。
Zoom 管理コンソール(https://zoom.us/signin#/login) で事前に設定する必要があります。
設定箇所について、下図をご参照ください。



既定の設定では、Zoom RoomsからGoogle Meetへ参加する場合、Zoom Room を使用した参加者は、すでにGoogle Meetに参加しているユーザーから許可される必要があります。

相互

運用トークンを設定することによって Zoom Roomsからの参加者はMeet会議の参加者からの許可なしで直接参加することができます。

Zoom ミーティングのアカウントでZoom Roomsにサインインできますか？

いいえ。
Zoom ミーティングのアカウントでは Zoom Rooms をご利用いただけません。
Zoom Rooms の完全版をご利用いただくには、Zoom Rooms 上でのサインインが必要となります。
ThinkSmart デバイスにライセンスは付属しておりませんので、
Zoom Rooms をご利用いただくにあたり、専用のライセンスを別途ご用意ください。

*12 Google Meet へ参加するには、Zoom Rooms 5.12.0以降のバージョンである必要があります。
会議IDで Teams 会議へ参加するは Zoom Rooms バージョン5.13.0 (2301)以降にアップグレードする必要があります。

8 よくある質問

プロキシ接続設定の方法

ThinkSmart ブランドの Zoom Rooms デバイスでプロキシ接続の設定が必要な場合、
以下の手順を参考に設定が可能です。
詳細については Zoom Rooms プロキシ接続設定ガイド [*13] をご確認ください

1. 管理者アカウントで「ZoomRoomsAdmin」にサインイン（P.25をご参照ください）
2. レジストリ エディターを「管理者として実行」で開く
3. ユーザー「ZoomRooms」のハイブ（設定ファイル C:¥Users¥ZoomRooms¥NTUSER.dat）を読み込む
4. 「 ZoomRooms 」のレジストリを修正してプロキシ設定
   「HKEY_USERS¥ZoomRooms¥Software¥Microsoft¥Windows¥CurrentVersion¥Internet Settings 」配下の 「 MigrateProxy 」、「 ProxyEnable 」、「 AutoConfigURL 」もしくは「 ProxyServer 」を以下の値に設定

スクリプト（PAC) を使う場合

名前	値のデータ	表記
MigrateProxy	1	16進数（H）
ProxyEnable	1	16進数（H）
AutoConfigURL	https://[お客様ドメイン] /proxy.pac	NA

IPアドレス直指定の場合

名前	値のデータ	表記
MigrateProxy	1	16進数（H）
ProxyEnable	1	16進数（H）
ProxyServer	プロキシサーバー名（もしくは IPアドレス）とポート番号	NA

5. 「ZoomRooms」に設定したハイブをアンロード

なお、ThinkSmart Manager を利用してのプロキシ設定も可能です。[*14]

*13 Zoom Rooms プロキシ接続設定ガイド
https://download.lenovo.com/mobilesjp/thinksmart_hub_for_zoom_rooms_proxy_connection_setting_uide.pdf

*14 ThinkSmart Manager ユーザー・ガイド
https://download.lenovo.com/consumer/mobiles/thinksmart_manager_user_guide_jp_20200529.pdf

thanks.

本ドキュメントに記載の内容は2023年5月16日時点のものであり、
ThinkSmart デバイスの展開のための参考資料として公開しています

内容は今後予告なく変更または削除となる場合があります

© 2023 Lenovo Japan LLC. All Rights Reserved.

第6版（2025年3月）

レノボ・ジャパン合同会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDX
https://www.lenovo.com/jp